

平成24年度秋期 災害対策専門研修  
マネジメントコース:エキスパートA

主担当: 研究員 高田 洋介

	10月30日(火)	10月31日(水)	11月1日(木)	11月2日(金)	
09時30分～10時45分	1限	市民社会ワークショップ 立木 茂雄 客員研究員(同志社大学社会学部 教授) 平野 昌 ハローボランティア・ネットワークみえ事務局 ・災害時の被災社会の対応において、ボランティアの果たす役割、市民の力の特徴と行政との関係のあり方について理解を深める”	災害対応各論(医療活動) 甲斐 達朗 上級研究員 (大阪府済生会千里病院副院長・千里救命救急センター長) ・災害現場の医療活動体制について理解を深める	都市の復興概論+復興まちあるき 小林 郁雄 上級研究員 (神戸山手大学現代社会学部 教授) ・阪神・淡路大震災の被災地を歩きながら、復興過程と様々な取り組みを学ぶ	
11時00分～12時15分			災害対応各論(被災者救護の法的枠組み) 日野 徹 厚生労働省社会・援護局災害救助・救援対策室 災害救助専門官 ・自治体の防災担当部局の組織力を向上させるために、災害救助法等などの理解を深める。		
13時15分～14時30分	3限	災害対応概論(初動期) 紅谷 昇平 研究主幹 ・初動対応時の対応と課題について理解を深める	災害対応各論(NPO・NGO) 阪本 真由美 主任研究員 ・災害時の被災社会の対応において、NPO・NGOの果たす役割とその特徴、また、行政との連携について理解を深める	災害対応各論(災害時の物流対応) 興村 徹 (株)日通総合研究所経済研究部 部長 ・災害直後から被災者の生活支援のための物流対応について、自治体担当部署のみならず民間運送会社などの能力も活用した実践的な事例を学ぶ	災害対応概論(復旧・復興期) 中林 一樹 上級研究員 (明治大学 大学院政治経済学研究科 特任教授) ・復旧・復興期の対応と課題について学ぶ
14時45分～16時00分	4限	災害対応概論(応急期) 石川 永子 主任研究員 ・応急対応期の対応と課題について理解を深める	危機対応時の組織論(情報システム) 浦川 豪 兵庫県立大学総合教育センター内防災教育センター 准教授 ・災害発生直後の被害予測技術、システム設計における業務分析の考え方を学ぶ	災害対応演習 佐伯 琢磨 主任研究員 ・危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方について学ぶ	危機対応各論(自衛隊の災害派遣) 高野 康悦 陸上自衛隊中部方面総監部防衛部 防衛課長 ・災害時の自衛隊の役割や、組織・ロジスティックの特徴などについて学ぶ
16時15分～17時30分	5限	※展示施設見学	危機対応時の組織論(戦略的な広報について) 安富 信 リサーチフェロー (大阪読売サービス(株)編集制作本部 企画編集委員)、 川西 勝 リサーチフェロー (読売新聞大阪本社 編集委員) ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ	+ 災害事例 WS 高田 洋介 研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
17時30分～17時45分	—	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

平成24年度秋期 災害対策専門研修  
マネジメントコース:エキスパートB

主担当: 研究員 齊藤 容子

	10月23日(火)	10月24日(水)	10月25日(木)	10月26日(金)
09時30分～10時45分	1限	災害情報共有手法 宇田川 真之 人と防災未来センター主任研究員 ・情報共有の具体的方法について	業務継続計画論 紅谷 昇平 人と防災未来センター研究主幹 ・各公共機関におけるBCPの意味と重要性について、また、その導入について、具体的な事例を交えて理解する	災害対策本部の空間構成設計演習 牧 紀男 京都大学防災研究所准教授 元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト東京事務所防災部主任 ・災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する
11時00分～12時15分	2限	10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション(11:30～施設見学) 齊藤 容子 人と防災未来センター研究員	我が国における災害対応の動向 内閣府政策統括官(防災担当)付 企画官 仲程 倫由 ・我が国の防災体制、災害救助法等の理解を深める	都市巨大災害論 河田 恵昭 人と防災未来センター長 ・事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する
13時15分～14時30分	3限	リスクマネジメント概論 小林 潔司 人と防災未来センター上級研究員 (京都大学経営管理大学院・大学院工学研究科都市社会工学専攻(併任)教授) ・行政評価の手法と考え方、防災計画等に基づく事業の評価手法について	災害をもたらす自然現象の理解(地盤災害) 岡 二三生 人と防災未来センター上級研究員(京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 教授) ・地震動による液状化など、地盤被害の状況を理解する	災害による交通渋滞について 中川 大 人と防災未来センター上級研究員(京都大学大学院工学部 都市社会工学専攻 教授/低炭素都市圏政策ユニット・政策支援センター長) ・災害時における交通計画や道路啓開の仕方、都市構造等について
14時45分～16時00分	4限	被害認定業務 田中 聡 富士常葉大学環境防災学部教授 ・被害認定の種類、また被災者への支援にとって重要な罹災証明書発行業務の実務について	災害時のこころのケア 明石 加代 兵庫県こころのケアセンター 主任研究員 ・災害発生初動期の被災者に対する接し方及び災害対応業務を行う上でのマインドケアについて	大震災の時代と危機管理 五百旗頭 真 公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構 理事長 関東大震災、阪神・淡路大震災、東日本大震災の3つの地震の事例と教訓について
16時15分～17時30分	5限	災害の対応事例と教訓 齋藤 富雄 兵庫県国際交流協会理事長 ・災害事例をもとに、災害対応の課題と対応方法の考え方について理解を深める ・事例をもとに意見交換を行い、災害対応のあり方について理解を深める	標準的な災害対応システム論 林 春男 人と防災未来センター上級研究員(京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授) ・災害対応における標準的業務手順や対応手法について	地方自治体における災害対策専門研修の実践的な活用 古越 武彦 人と防災未来センター研究調査員(長野県危機管理本部危機管理防災課付 派遣) ・人と防災未来センターの災害対策専門研修を、実際に長野県の施策として実践した事例を紹介することで、受講者が業務に活用するための一助とする
17時30分～17時45分	—	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム

平成24年度秋期 災害対策専門研修  
アドバンスト／防災監・危機管理監コース

主担当:研究主幹 紅谷 昇平

10月18日(木)	10月19日(金)
<p>(10:30～10:55) 開講式 (10:55～11:15) オリエンテーション 紅谷 昇平 人と防災未来センター 研究主幹</p>	<p>(9:30～10:45) 「行政対応特論②」 須崎 誠久 新宮市 防災対策課 課長補佐 2011年台風12号を事例に、状況が刻々と変わる大規模水害時に求められる対応と課題について学ぶ。</p>
<p>(11:15～12:15) 「危機対応組織論」 河田 恵昭 人と防災未来センター センター長 危機対応をする上で首長を補佐する職にある人が必要とする能力について理解する。</p>	<p>(11:00～12:30) 「災害対応特論」 室崎 益輝 関西学院大学総合政策学部教授・同大学災害復興制度研究所所長 災害の状況に応じて既存法制度の限界部分、対応策についての指示、判断ができるようになるための考えを深める。講義は討論形式で行う。</p>
<p>(13:15～14:30) 「危機対応時の組織論(トップの対応)」 遠藤 勝裕 (独)日本学生支援機構 理事長 (元・日本銀行神戸支店長) 阪神・淡路大震災での日本銀行神戸支店トップの災害対応、危機管理に対する心得を学ぶ。</p>	<p>(13:30～15:15) 「災害対応検討ワークショップ」 室崎 益輝 関西学院大学総合政策学部教授・同大学災害復興制度研究所所長 紅谷 昇平 人と防災未来センター 研究主幹 災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針、施策を検討する考え方を演習を通じて深める。 (途中休憩あり)</p>
<p>(14:45～15:30) 「目標管理型災害対応論」 紅谷 昇平 人と防災未来センター 研究主幹 目標管理型災害対応の考え方やその具体的内容について、過去の災害事例を踏まえ理解する。</p>	
<p>(15:45～17:00) 「行政対応特論①」 齋藤 富雄 兵庫県国際交流協会理事長(元 兵庫県防災監) 大規模災害時の対応事例を知り、災害発生後の対応課題と首長に助言すべき内容を学ぶ。講義は討論形式で行う。</p>	<p>(15:30～15:45) レポートタイム (15:45～16:00) 閉講式</p>
<p>(17:00～17:15) レポートタイム</p>	